

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-21-01-01			
所管する所属	上下水道管理局（経営企画課）					
会計名称	21 下水道事業会計	計画 関連 ページ	P64,P70,P73, P75~P82			
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	01 収益的収支					
中項目	収益的収入 収益的支出 経常損益  財政計画との比較については、別紙『下水道事業財政計画及び決算見込』のとおり					
指標	① 別紙『下水道事業財政計画及び決算見込み』収益的収支の経常損益					
	② -					
目標値	単年度	①	1,051,540 千円	令和9年度	①	8,007,884 千円
		②	-	(計画最終年度/累積)	②	-

2 実施結果 (DO)

実施した 主な事業	収益的収支は、公共下水道の維持管理に係る収支状況を示したものである。 令和元年10月1日に総務省基準単価である150円/㎡を基準として使用料の改定を行い、令和4年度の決算では、150.06円/㎡となった。					
	実施後の値	①	1,353,318 千円	実施後の値	①	6,942,566 千円
	(単年度)	②	-	(累積)	②	-

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/>	目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/>	目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/>	目標の進捗を下回る
説明	令和元年10月1日に使用料を改定したことにより、令和4年度決算では、改定前と比較して約4.7億円の収入増となり、一般会計繰入金を減額することができた。しかし、汚水処理原価が166.52円/㎡であり、使用料単価を上回っている。					
	達成率 (単年度)	①	128.70 %	達成率 (累積)	①	86.7 %
		②	- %		②	- %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/>	見直しの必要あり	<input type="checkbox"/>	中止
今後の取組方針	総合評価	A				
	汚水処理に係る費用については、原則、使用料で賄うべきものであり、令和4年度の使用料単価が150.06円/㎡であるのに対して汚水処理原価は166.52円/㎡であることから、今後も健全経営に向け努力することで、一般会計繰入金の減少に取り組む。					

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-21-01-02			
所管する所属	上下水道管理局（経営企画課）					
会計名称	21 下水道事業会計	計画 関連 ページ	P64,P70,P73, P75~P82			
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	02 資本的収支					
中項目	資本的収入 資本的支出 資本的収入額が資本的支出額に不足する額  財政計画との比較については、別紙『下水道事業財政計画及び決算見込』のと おり					
指標	①	—				
	②	—				
目標値	単年度	①	—	令和9年度	①	—
		②	—	(計画最終年度/累積)	②	—

2 実施結果 (DO)

実施した 主な事業	資本的収支は、公共下水道事業に必要な固定資産等を構築するため、当該年度の収支状況を示したものである。資本的支出は、公共下水道の整備に係る費用（建設改良費）と企業債の償還金であり、資本的収入については、建設改良費の財源とする企業債と企業債の償還金の財源となる他会計補助金等である。 令和4年度は、一般会計の財政状況を踏まえ、資本的支出の財源として、下水道事業債の元利償還金と減価償却費の差額を補う資本費平準化債の積極的な活用を行った。					
	実施後の値	①	—	実施後の値	①	—
	(単年度)	②	—	(累積)	②	—

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る			
説明	資本費平準化債は、当該計画においては6億4千3百万円を計画していたが、一般会計からの繰入金に代えて、令和4年度においても13億8千6百万円を借り入れたことにより、単年度の収支が改善している。					
	達成率 (単年度)	①	— %	達成率	①	— %
		②	— %	(累積)	②	— %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の 取組方針	総合評価	B	
	一般会計の財政状況を踏まえ、令和4年度においても資本費平準化債を13億8千6百万円借り入れた。今後も資本費平準化債の活用などにより、収支については現状維持に努めることが重要である。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	一部不適正	説明・意見	
----	-------	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-21-01-03
所管する所属	上下水道管理局（経営企画課）		
会計名称	21 下水道事業会計	計画 関連 ページ	P64,P70,P73, P74~P82
財政収支計画	01 財政計画		
大項目	03 他会計繰入金		
中項目	(収益的収支) 基準内繰入金 (収益的収支) 基準外繰入金 (資本的収支) 基準内繰入金 (資本的収支) 基準外繰入金  財政計画との比較については、別紙『下水道事業財政計画及び決算見込』のとおり		
指標	① 別紙『下水道事業財政計画及び決算見込み』基準内繰入金		
	② 別紙『下水道事業財政計画及び決算見込み』基準外繰入金		
目標値	単年度	① 4,714,830 千円	令和9年度 ① 44,820,171 千円
		② 1,571,610 千円	(計画最終年度/累積) ② 14,940,057 千円

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	基準内繰入金とは、公共下水道施設を整備することで環境衛生に寄与する点があり不特定多数の人に受益があることから、その費用に係る財源を税で措置すべきものを基準内繰入金としている。一方、基準外繰入金は、公共下水道の施設使用者の住環境が改善されることから、この費用は本来、公共下水道の使用料で賄うべきものであるが、その費用に対して使用料収入が不足するため、やむを得ず基準外繰入金として税により補填している。 これらのことから、令和元年10月1日に下水道使用料の改定を行い、令和4年度の使用料収入は、改定前と比較して約4.7億円増加した。 また、一般会計の財政状況を踏まえ、資本費平準化債の借入額について、計画の6億4千3百万円から13億8千6百万円へと増額したことにより、単年度で基準外繰入金を約7億9千万円削減した。			
	実施後の値	① 4,362,052 千円	実施後の値	① 22,285,560 千円
	(単年度)	② 781,488 千円	(累積)	② 4,021,370 千円

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	基準外繰入金の削減は、使用料の見直しと資本費平準化債の借り入れ増が大きなき要因となっているが、資本費平準化債の大幅な借入増については、一般会計の財政状況を踏まえ、計画値を大幅に上回る借入としたものである。			
	達成率 (単年度)	① 108.09 %	達成率 (累積)	① 201.12 %
		② 201.1 %		② 371.52 %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	令和4年度も令和3年度と同様に、一般会計からの繰入金に代えて、計画値を上回る資本費平準化債の借入を行った。このことは、企業債残高を増加させ、将来の負担が大きくなることから、計画値並みの繰り出しについて関係部局と協議を進めていく。 また、令和4年度決算では、汚水処理原価は166.52円/m <sup>3</sup> で、使用料単価の150.06円/m <sup>3</sup> を上回っているため、今後も引き続き健全経営に向け努力したい。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	一部不適正	説明・意見	
----	-------	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-22-01-01			
所管する所属	上下水道事業局（下水道工務課・下水道施設課）・上下水道管理局（経営企画課）					
会計名称	22 市営浄化槽事業特別会計		計画 関連 ページ	P65,P71,P83, P84,P85,P86		
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	01 収益的収支					
中項目	収益的収入 収益的支出 経常損益 財政計画との比較については、別紙『特定地域生活排水処理施設（市営浄化槽					
指標	①	—				
	②	—				
目標値	単年度	①	—	令和9年度	①	—
		②	—	(計画最終年度/累積)	②	—

2 実施結果 (DO)						
実施した主な事業	使用料収入で営業費用を賄うことができず、維持管理基数の増加により経営が更に悪化する状況である。なお、不足額については一般会計繰入金で賄っている。 【令和4年度決算】 市営浄化槽事業使用料収入 103,771千円(税込) 営業費用 370,723千円(税込) 【市営浄化槽の維持管理に係る主な費用】 維持管理業務委託料/汚泥引抜き手数料/浄化槽法に基づく法定検査の受検手数料					
	実施後の値	①	—	実施後の値	①	—
	(単年度)	②	—	(累積)	②	—

3 事業の分析 (CHECK)								
進捗状況		<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る		<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗		<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る		
説明	令和4年度の決算値と計画値を比較すると、使用料収入は10,138千円の減、営業費用は113,306千円の減であり、共に計画値を下回った。これは、浄化槽の維持管理基数が計画の想定を下回ったことが主な要因である。また、令和元年度に使用料改定を行ったことにより、使用料収入の方が計画値との乖離が小さくなっている。							
	達成率	①	—	%	達成率	①	—	%
	(単年度)	②	—	%	(累積)	②	—	%

4 今後の方向性 (ACTION)							
事業の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進		<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり		<input type="checkbox"/> 中止	
今後の取組方針	総合評価	A					
	営業費用に対して使用料収入が大幅に下回っており、厳しい経営状況である。 使用料体系については、公共下水道事業および共同汚水処理施設事業と同じであるため、総合的に検討を進める必要がある。						

5 津市上下水道事業経営審議会の意見					
評定	一部不適正	説明・意見			

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要（PLAN）

計画コード		21-22-01-02				
所管する所属	上下水道事業局（下水道工務課工事担当）・上下水道管理局（経営企画課）					
会計名称	22 市営浄化槽事業特別会計	計画 関連 ページ	P65,P71,P83, P84,P85,P86			
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	02 資本的収支					
中項目	資本的収入 資本的支出 資本的収入額が資本的支出額に不足する額  財政計画との比較については、別紙『特定地域生活排水処理施設（市営浄化槽事業）』のとおり					
指標	①	—				
	②	—				
目標値	単年度	①	—	令和9年度	①	—
		②	—	(計画最終年度/累積)	②	—

2 実施結果（DO）

実施した主な事業	資本的支出の主な項目は、市営浄化槽の設置工事費であり、令和4年度は、69基の設置を行った。  【令和4年度決算】 資本的収入 63,576千円（税込） 資本的支出 83,901千円（税込） 不足額 20,325千円（税込）					
	実施後の値	①	—	実施後の値	①	—
	(単年度)	②	—	(累積)	②	—

3 事業の分析（CHECK）

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗 <input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	令和4年度資本的収入は、△49,545千円（対計画値）であり、資本的支出は、△29,220千円（対計画値）であった。資本的支出が、計画を下回った主な要因は、設置基数が下回ったことによる建設改良費の減であり、資本的収入もその財源となる繰入金や補助金であるため、計画を下回った。	
	達成率 (単年度)	① — % ② — %
	達成率 (累積)	① — % ② — %

4 今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進 <input type="checkbox"/> 見直しの必要あり <input type="checkbox"/> 中止		
今後の取組方針	総合評価	B	
資本的支出の削減として、市営浄化槽の人槽や建物用途等の対象範囲の見直しについて検討を行ったが、当事業は公共下水道区域外の市民のインフラ整備のための重要な事業であることから、対象人槽等を狭めず、現状のまま事業を実施していくことが必要との判断に至った。そのため、不足額を一般会計からの繰入金で賄っている状況であるが、今後も引き続き普及促進を行っていく。			

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-22-01-03
所管する所属	上下水道管理局（経営企画課）		
会計名称	22 市営浄化槽事業特別会計	計画 関連 ページ	P65,P71,P83, P84,P85,P86
財政収支計画	01 財政計画		
大項目	03 他会計繰入金		
中項目	(収益的収支) 基準内繰入金 (収益的収支) 基準外繰入金 (資本的収支) 基準内繰入金 (資本的収支) 基準外繰入金 財政計画との比較については、別紙『特定地域生活排水処理施設（市営浄化槽事業）』のとおり		
指標	① 基準内繰入金の額		
	② 基準外繰入金の額		
目標値	単年度	① 31,767 千円	令和9年度 ① 314,960 千円
		② 391,081 千円	(計画最終年度/累積) ② 4,028,157 千円

2 実施結果 (DO)			
実施した主な事業	基準内繰入金とは市営浄化槽を設置することで環境衛生に寄与する点があり不特定多数の人に受益があることから、その費用に係る財源を税で措置すべきものを基準内繰入金としている。一方、基準外繰入金は市営浄化槽の利用者の住環境が改善されることから、この費用は本来、市営浄化槽の使用料で賄うべきものであるが、その費用に対して使用料収入が不足するため、やむを得ず基準外繰入金として一般会計から補填している。 【基準内繰入金を財源とする主な支出】 ・浄化槽設置工事に係る地方債の元利償還金 【基準外繰入金を財源とする支出】 ・使用料等の収入で賄うことができない費用		
	実施後の値	① 20,639 千円	実施後の値 ① 67,259 千円
	(単年度)	② 283,836 千円	(累積) ② 1,282,247 千円

3 事業の分析 (CHECK)			
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/>	目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗 <input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る
説明	令和元年10月に実施した使用料改定による収入増に加えて、実際の設置基数が計画を下回ったことによる費用の減少により、基準内及び基準外の繰入金が抑えられた。		
	達成率 (単年度)	① 153.92 %	達成率 ① 468.28 %
		② 137.78 %	(累積) ② 314.15 %

4 今後の方向性 (ACTION)			
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり <input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	市営浄化槽の設置基数が増加することで、基準外繰入金は増加してしまうが、衛生的で快適な生活、公共用水域の保全を図るために、市営浄化槽の設置基数の増加に向けた取り組みを行っている。 今後も設置基数の増加に伴って、基準外繰入金の額が増加することが予測されるため、基準外繰入金の縮減に向けた政策の検討を行う。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見			
評定	適正	説明・意見	

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-23-01-01			
所管する所属	上下水道事業局（下水道施設課）・上下水道管理局（経営企画課）					
会計名称	23 共同汚水処理施設事業特別会計		計画 関連 ページ	P65,P71,P87, P88,P89,P90		
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	01 収益的収支					
中項目	収益的収入 収益的支出 経常損益  財政計画との比較については、別紙『共同汚水処理施設』のとおり					
指標	①	—				
	②	—				
目標値	単年度	①	—	令和9年度	①	—
		②	—	(計画最終年度/累積)	②	—

2 実施結果 (DO)

実施した 主な事業	営業費用は、主に共同汚水処理施設に係る維持管理費用で、この費用は本来、共同汚水処理施設使用料収入で賄うべきものであるが、不足が生じるため一般会計繰入金で賄っている。					
	【令和4年度決算】 共同汚水処理施設事業使用料収入 123,067千円(税込) 営業費用 159,396千円(税込)					
	【共同汚水処理施設の維持管理に係る主な事業】 維持管理業務委託料/汚泥引抜き手数料/浄化槽法に基づく法定検査の受検手数料					
	実施後の値	①	—	実施後の値	①	—
(単年度)	②	—	(累積)	②	—	

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る		<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗		<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る			
説明	令和4年度に青葉台の帰属が完了し、現在5施設の維持管理を行っている。令和4年度に9施設を帰属する計画であったため、令和4年度の決算値と計画値を比較すると、使用料収入及び営業費用のいずれも計画値を下回る結果となった。							
	達成率	①	—	%	達成率	①	—	%
	(単年度)	②	—	%	(累積)	②	—	%

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/>	見直しの必要あり	<input type="checkbox"/>	中止
今後の取組方針	総合評価	B				
	依然繰入金に頼っている経営状況であるため、更なる費用の縮減に努める。					

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-23-01-02			
所管する所属	上下水道事業局（下水道施設課）					
会計名称	23 共同汚水処理施設事業特別会計	計画 関連 ページ	P65,P71,P87, P88,P89,P90			
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	02 資本的収支					
中項目	資本的収入 資本的支出 資本的収入額が資本的支出額に不足する額  財政計画との比較については、別紙『共同汚水処理施設』のとおり					
指標	①	—				
	②	—				
目標値	単年度	①	—	令和9年度	①	—
		②	—	(計画最終年度/累積)	②	—

2 実施結果 (DO)

実施した 主な事業	共同汚水処理施設事業は、公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水事業の区域外で共同汚水処理施設を有する大規模団地を対象として、市が使用料を徴収し維持管理を行うため、対象施設等を市へ帰属し事業を運営している。 共同汚水処理施設事業は、平成29年度より開始し、改築更新は帰属後5年を経過した施設について、必要に応じて実施していくため、令和4年度は建設改良事業の実施はない。					
	実施後の値	①	—	実施後の値	①	—
	(単年度)	②	—	(累積)	②	—

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る					
説明	帰属された施設は、供用開始後40年を経過した施設もあることから、衛生的で快適な生活、公共用水域の水質保全を図るため、機能保全を計画的に行い、持続的な機能の確保を図る必要がある。							
	達成率	①	—	%	達成率	①	—	%
	(単年度)	②	—	%	(累積)	②	—	%

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	帰属した施設について、状況を確認し、必要に応じて改築更新事業を実施していく。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-23-01-03
所管する所属	上下水道管理局（経営企画課）		
会計名称	23 共同汚水処理施設事業特別会計	計画 関連 ページ	P65,P71,P87, P88,P89,P90
財政収支計画	01 財政計画		
大項目	03 他会計繰入金		
中項目	(収益的収支) 基準内繰入金 (収益的収支) 基準外繰入金 (資本的収支) 基準内繰入金 (資本的収支) 基準外繰入金 財政計画との比較については、別紙『共同汚水処理施設』のとおり		
指標	① 基準外繰入金の額		
	② -		
目標値	単年度	① 54,023 千円	令和9年度 ① 437,015 千円
		② -	(計画最終年度/累積) ② -

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	基準外繰入金は、共同汚水処理施設の維持管理費を共同汚水処理施設を利用する使用者から徴収した使用料で賄うべきものであるが、その費用に対して使用料収入が不足するため、止むを得ず基準外繰入金として一般会計から補填している。 【基準外繰入金を財源とする主な支出】 使用料等の収入で賄えない維持管理費			
	実施後の値	① 32,103 千円	実施後の値	① 74,781 千円
	(単年度)	② -	(累積)	② -

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	令和元年10月に実施した使用料改定により使用料収入が増加した結果、令和4年度の基準外繰入金は、改定前の計画より21,920千円低減した。			
	達成率 (単年度)	① 168.28 %	達成率 (累積)	① 584.39 %
		② - %		② - %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	使用料改定により基準外繰入金の低減を行うことができたが、依然繰入金に頼っている経営状況であるため、更なる費用の縮減に努める。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-24-01-01			
所管する所属	上下水道事業局（下水道施設課）・上下水道管理局（経営企画課）					
会計名称	24 農業集落排水事業特別会計	計画 関連 ページ	P66,P71,P91, P92,P93			
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	01 収益的収支					
中項目	収益的収入 収益的支出 経常損益 財政計画との比較については、別紙『農業集落排水事業+簡易排水事業』のとおり					
指標	①	—				
	②	—				
目標値	単年度	①	—	令和9年度	①	—
		②	—	(計画最終年度/累積)	②	—

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	農業集落排水処理施設に係る維持管理費は、農業集落排水処理施設使用料収入で賄うべきものであるが、不足が生じるため、一般会計繰入金で賄っている。					
	【令和4年度決算】 農業集落排水処理施設使用料 128,700千円 営業費用 288,732千円					
	【維持管理に係る主な費用】 污泥引抜等の手数料/維持管理業務委託料/光熱水費/施設修繕料					
	実施後の値	①	—	実施後の値	①	—
(単年度)	②	—	(累積)	②	—	

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る		<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗		<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る			
説明	営業費用のうち、経常的な費用である光熱水費が、対前年度比33.7%増であった。今後は益々、物価上昇による維持管理費の増加が懸念される。							
	達成率	①	—	%	達成率	①	—	%
	(単年度)	②	—	%	(累積)	②	—	%

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進		<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり		<input type="checkbox"/> 中止	
今後の取組方針	総合評価	B				
	使用料収入で維持管理費を賄う経営は、今後も困難であると見込まれるが、効率的な事業運営を行い、費用縮減に努める。 また、農業集落排水処理施設の使用料体系は、公共下水道、市営浄化槽及び共同汚水処理施設の使用料体系と異なるため、本市の汚水処理に係る使用料体系の統一と適正な使用料について調査、研究を行う。					

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)				計画コード	21-24-01-02
所管する所属	上下水道事業局（下水道施設課）				
会計名称	24 農業集落排水事業特別会計	計画	P66,P71,P91,		
財政収支計画	01 財政計画	関連	P92,P93		
大項目	02 資本的収支	ページ			
中項目	資本的収入 資本的支出 資本的収入額が資本的支出額に不足する額  財政計画との比較については、別紙『農業集落排水事業+簡易排水事業』のとおり				
指標	①	—			
	②	—			
目標値	単年度	①	—	令和9年度	① —
		②	—	(計画最終年度/累積)	② —

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	令和4年度は、資本的収支に係る事業の実施はなし。（令和6年度に維持管理適正化計画を策定するため、国に予算要求を行っていく。）  (参考) 農業集落排水処理施設の機能強化による延命化 令和元年度～令和2年度 機能診断調査 実施済み 令和2年度 最適整備構想策定 実施済み 令和6年度 維持管理適正化計画策定 令和8年度 機能強化対策事業計画策定				
	実施後の値	①	—	実施後の値	① —
	(単年度)	②	—	(累積)	② —

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	機能強化事業に伴う機能診断調査及び最適整備構想策定は完了しているが、令和3年度に維持管理適正化計画の策定が国の補助要件に追加されたため、スケジュールを再調整し、事業を進めている。			
	達成率 (単年度)	① — %	達成率 (累積)	① — %
		② — %		② — %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	B	
施設の機能強化工事を行うためには、国の補助金が必要不可欠であるため、今後も引き続き、国の動向を注視しながら、機能強化工事に向けた維持管理適正化計画及び機能強化対策事業計画の策定を進める。			

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画（財政計画）評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-24-01-03			
所管する所属	上下水道管理局（経営企画課）					
会計名称	24 農業集落排水事業特別会計	計画 関連 ページ	P66,P71,P91, P92,P93			
財政収支計画	01 財政計画					
大項目	03 他会計繰入金					
中項目	(収益的収支) 基準内繰入金 (収益的収支) 基準外繰入金 (資本的収支) 基準内繰入金 (資本的収支) 基準外繰入金 財政計画との比較については、別紙『農業集落排水事業+簡易排水事業』のとおり					
指標	① 基準内繰入金の額					
	② 基準外繰入金の額					
目標値	単年度	①	299,401 千円	令和9年度	①	2,837,301 千円
		②	106,695 千円	(計画最終年度/累積)	②	1,067,540 千円

2 実施結果 (DO)						
実施した主な事業	農業集落排水処理施設の整備については環境衛生の寄与につながり、不特定多数の人に受益をもたらすことから、その費用に係る財源を税で措置すべきものについては基準内繰入金としている。 一方、農業集落排水処理施設の維持管理費については使用者の住環境が改善されることから、使用料で賄うべきものであるため、その費用に係る財源を繰入金により賄う場合は基準外繰入金としている。					
	【基準内繰入金を財源とする支出】 農業集落排水処理施設の整備に係る地方債の元利償還金 【基準外繰入金を財源とする支出】 使用料等の収入で賄うことができない費用					
	実施後の値	①	289,165 千円	実施後の値	①	1,493,809 千円
	(単年度)	②	147,619 千円	(累積)	②	653,214 千円

3 事業の分析 (CHECK)						
進捗状況		<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る		
説明	総支出の約5割が、農業集落排水処理施設の建設に係る地方債の元利償還金である。また、使用料収入で賄えない事業費については、一般会計の繰入金により補てんを行っている。なお、基準外繰入金が計画値よりも増加した要因としては、光熱水費等の高騰があげられる。					
	達成率	①	103.54 %	達成率	①	189.94 %
	(単年度)	②	72.28 %	(累積)	②	163.43 %

4 今後の方向性 (ACTION)							
事業の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止			
今後の取組方針	総合評価	B					
	農業集落排水処理施設の使用料体系は、公共下水道、市営浄化槽及び共同汚水処理施設の使用料体系と異なるため、本市の汚水処理に係る使用料体系の統一と適正な使用料について調査、研究を行い、基準外繰入金の縮減に努める。						

5 津市上下水道事業経営審議会の意見					
評定	適正	説明・意見			